

KJKネット会員各位

KJK ネット東京例会（仮称）第1回例会のご案内 －例会テーマ「日本農業を語る」－

紅葉の季節、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、すでにメールにてお知らせしてきましたKJKネット東京例会の実施についてご案内いたします。

2009年7月9日に行われたKJK ネット拡大幹事会において「自己啓発、相互啓発、経験交流」を掲げてきた小島塾の志を継ぎ、現在、鳥取、北海道などで行なっている各地方での小島志塾例会の他、東京での例会を是非復活しようとの提言があり、別紙のとおり運営方針案を作成しました。第一回例会幹事を佐藤昇さん、小川豊さんにお引き受けいただき、具体的な企画につき、検討を進めていただきました。

第1回例会の具体的なテーマは「日本農業を語る」とし、下記のとおり開催することといたします。

ぜひKJKネット東京会員の方を中心に、テーマに興味のある会員外の方にもご参加いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

KJKネット東京例会第1回例会「日本農業を語る」の趣旨 / 第一回例会幹事:小川 豊

今、ある意味で、農業ブームで、「帰農」という言葉もよく聞かれます。しかし、そのブームは一過性のものなのか、もっと深いものなのか。都会から離れたいとか、自然に接したいというレベルからどれほど深く考えられたものか、また、どれほどの経験知に基づくものなのか一抹の疑問を捨て切れません。

農業問題は都市問題である、という総合的、哲学的視点をお持ちで、かつ専門的な経験の長い山代勁二さんに、再生例会の第一回の口火を切っていただくことになりました。

皆さんがそれぞれの立場で、ともすれば漠然と考えていることを共通の言語にし、次の議論と行動に移るための大切な会になると思います。

先日のKJKネット拡大幹事会では、近代史と日本史に対する洞察と、現状で何ができるかという実践的な提案のお話をいただきました。小島先生が最後まで考えられていた主題をさらに発展させたものだと思います。

農業プロパーの方だけでなく、小島志塾内外の幅広い分野の方、とりわけ若い方の参加を期待します。

KJKネット東京例会第1回例会によせて / 山代 勁二氏

「農を語る」ことが重要になってきています。拡大幹事会の議論で、どなたでもお集まりいただき意見を交換するサロンを開始することとなり佐藤昇さん、小川豊さんがこれを担当されることになりました。その両氏から私に相談があり、イントロをやってくれということになりました。

農業については、誰でも色々な思いを持っていて議論は出来ませんが、立場からの発言が多くまとまりが悪いのも事実です。おたがいに思い描く図柄をあわせ、1つの図柄にまとめる努力、立場の論理から普遍的な論理への昇華が必要となります。

このサロンが、皆様の知恵や知識が集まり、有益な議論が出来ますように祈念しつつ、I～IVのジャンル（袋）を用意しました。勉強会は継続を必要としておりますので、回を重ねるごとに、この袋の中に、皆様の

議論の成果がどっさり集まり、文字通り知恵袋になってくれることを期待しています。

I)地球の危機

傷だらけの地球、農業・農村からの救済の入り口は？

II)日本農業を語る前提

農業問題とは？誰にとっての？農業の性格、農業に対する無関心の背景、求められる広い視野、農業と農村の価値(経済面)

III)農業の未来——歴史的反省の立脚点、付加価値を上げる農業経営とその戦略、農業再生の商品開発

IV)農村計画の基本発想

農村計画の推進原理、地域産業づくりと農業経営、農村から夢を発信する思考方法

「山代勁二氏プロフィール」

1964年 ユニチカ入社。緑化事業、住宅産業事業等を経験

1984年(株)地域事業研究所創立、現会長

1993年 創造農学研究会設立、現会長

小島慶三氏とは技術者の集まりの提慶会で初対面。その後2001年提慶会解消まで同会世話人。

第1回例会のご案内

記

□日時 2009年11月16日(月) 18:00～

□場所 日本プレスセンタービル 9F会議室(東京都千代田区内幸町)

□会費 社会人3000円・学生2000円(軽食込み)

□内容 ・KJKネット東京例会立ち上げの趣旨

・参加者自己紹介

・ディスカッション「日本農業を語る」コーディネーター：山代勁二氏

・次回例会のテーマ検討 等

□幹事 佐藤昇会員、小川豊会員

□出欠について：メールまたはFAXにて11月10日(月)までに出席をご連絡願います。

また、例会での話題提供をしていただける方を募集いたします。

メールアドレス mail@kjnet.jp ・FAX 03-3482-3360(島崎)

別紙

KJK ネット東京例会の立ち上げについて

2009年7月9日に行われたKJK ネット拡大幹事会において「自己啓発、相互啓発、経験交流」を掲げてきた小島塾の志を継ぎ、現在、鳥取、北海道などで行なっている各地方での小島志塾例会の他、東京での例会を是非復活しようとの提言があり、以下のとおり検討し、運営方針案としました。

KJK ネット東京例会(仮称)運営方針(案)

- ・主として会員の提言を下に議論する形式を取り入れて、会員が持ち回りでテーマ、講師、日時、場所、会費などを企画し周知して例会を開催する。
- ・開催は、年4回(2月・5月・9月・11月)ぐらいのテンポで第3月曜日を定例会とし、第1回は11月16日(第3月曜日)を予定する。
- ・KJK ネットの会員を対象とするが、会員外の参加を歓迎し、会員の拡大を図り、併せてヒューマンミックス、スモールの思想の再認識、普及啓蒙をめざす。
- ・東京、首都圏の会員はもちろん東京以外の会員の参加も歓迎する。
- ・テーマは、これまで例会でテーマとしてきたヒューマンミックスに関する農業問題、環境問題、経済問題、金融問題、国際問題、社会問題、政治問題……等など
- ・世話役は持ち回りとして、テーマ、講師、日時、場所、会費を決めて例会を企画・主催する。第1回の世話役は、佐藤昇さん、小川豊さんをお願いする。
- ・KJK ネット会員にはホームページ、メール又はFAXでお知らせする。また現状の会員掲示板(BBS)を改修し意見交換の場とするよう利用を検討することとする。

以上、運営方針案については第一回例会にてご意見をいただき、決定し、今後の運営を行っていくこととします。